

## 一人ひとりの「わかる」に向けて

### 令和5年度開始の新しい川崎市学習状況調査結果の概要をお知らせします

令和5年4月に川崎市立小中学校の小学校4年生から中学校3年生までを対象に実施した「新しい川崎市学習状況調査」の調査結果をまとめました。この結果を踏まえ、GIGA端末を活用したり、各学校が研修を行ったりして、学習改善や授業改善に取り組んでまいります。なお、本調査結果の詳細については、川崎市教育委員会等で分析した後、10月頃、川崎市総合教育センターのホームページに公表する予定です。

#### 1 調査の概要

- 調査実施日 4月始業式翌週の火曜日～金曜日のうち各学校が設定  
令和5年度は4月11日（火）～14日（金）
- 調査対象 小学4年生～中学3年生の6年間 毎年実施
- 調査内容 小学校：国語、算数、学習意識調査  
中学校：国語、社会、数学、理科、英語、学習意識調査
- 調査範囲 小中学校とも、前学年までの学習内容が範囲
- 調査問題 調査問題はIRT（項目反応理論）に基づく問題で、従来のテスト評価方法では困難だった「異なる問題での結果の比較」が可能になります。学校や学年、児童生徒一人ひとりの学習状況を経年で把握し、「誰一人取り残さない学び」を目指します。
- 調査結果の返却 7月7日（金）以降、設問や観点ごとの結果等を記載した個人票（紙帳票）が返却されます（イメージは3ページ）。
- 調査結果の活用 学校や学年、学級の実態を把握し、学校全体として強みや弱みがわかるため、各学校は調査結果を授業改善につなげやすくなります。調査結果をGIGA端末の学習ソフトと連携させることで、一人ひとりの実態に合わせた問題が自動で生成されます。児童生徒はGIGA端末を活用することで、自身の強みや弱みがわかり、学習改善に取り組みやすくなります。

#### 2 実施の状況

調査を実施した川崎市立学校は167校で、児童生徒合計63,038人が参加しました。

小学校	中学校	特別支援学校（小学部、中学部）
114校	52校	1校

小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
11,688人	11,893人	11,805人	9,482人	9,217人	8,998人	63,083人

### 3 調査結果を生かした今後の取組

#### 児童生徒は次のような取組を進めます

##### ○自分自身の課題等の把握

児童生徒は、自身の調査結果が記載されている「個人票」を基に、保護者とともこれまでの学習を振り返り、自分自身の「苦手なところ」や「さらにながらりたいところ」等を把握します。

##### ○GIGA端末を活用した取組

個人票には二次元コードが記載されています。GIGA端末で読み込むと、GIGA端末内の学習ソフトと連携して、一人ひとりの実態に応じた問題が自動生成されます。児童生徒は、生成された問題に取り組むことで、「苦手な部分の克服」や「身につけているか不安に感じている学習内容の確認」等につなげることができます。

##### ○児童生徒自らの継続した取組

児童生徒は、自ら自分自身の課題を把握し、日々の学習に取り組んだり、GIGA端末の学習ソフトを活用したりしながら、継続して自らの課題の克服等に取り組んでいきます。

※次のページ以降に「個人票のサンプル」と「児童生徒の取組例」を示してあります。

#### 各学校は次のような取組を進めます

##### ○授業改善等に向けた研修（8月）

調査結果から、学校全体としてどのような取組を重視するのか、各教科等の指導において、学年や学級でどのような手立てを行うか等について校内で話し合い、授業をよりよくするための手立てや、児童生徒の実態に応じた支援の手立てについて考えます。

##### ○学校報告書の作成と配布（前期終了までに）

各学校は、受検した学年の調査結果や今後の取組等を記載した学校報告書を作成して配布します。

##### ○夏季休業後の取組

7～8月の研修を生かして、日々の授業改善や児童生徒の支援に取り組みます。また、秋には市内全小中学校の担当者が参加する説明会にて、全市の調査結果を踏まえた授業改善の手立てや、各学校の取組等の情報共有を行います。各研修、説明会を生かして授業改善等に取り組みます。

##### ○年度末の取組

各学校は、年度末に今年度の取組を振り返り、次年度以降の取組について検討します。

#### 総合教育センターは次のような教職員向けの研修・説明会を行います

##### ○結果を分析するための研修（7月）

調査結果の分析の仕方、データの読み取り方や扱い方等について研修します。

##### ○秋の担当者説明会（9月・10月）

校長会と教育委員会が行う全市の調査結果の教科ごとの分析などについて、分析内容と授業改善の手立てを説明します。また、各学校の調査時の取組事例や、授業改善の取組事例の情報交換等を行います。

##### ○年度末説明会

今年度の取組を振り返り、次年度の取組に向けた情報提供等を行います。

4 個人票のサンプル (中学校版) ※小学校版は、国語、算数の2教科になります。

あなたの結果

2023年度1学期

教科別の児童生徒の正答率が掲載されます。

算数	51.4	31.8	58.0	55.6	22.7
英語	91.2	84.6	90.0	92.9	56.6
社会	80.6	48.0	85.7	49.2	44.0
理科	52.6	51.7	54.2	54.1	50.0

ここに示されている二次元コードから、GIGA端末の学習ソフトへつながります。学習ソフトから、児童生徒の調査結果に応じた問題が自動生成されます。

教科ごとに、過去3年間(過去3回分)の児童生徒自身の経年推移のグラフが示されます。今年度は初年度のためグラフは1つです。

各教科、単元ごとの児童生徒の正答率が掲載されます。

児童生徒一人ひとりの調査結果に応じた学習アドバイスが掲載されます。

1の振り返りポイント

2の振り返りポイント

3の振り返りポイント

4の振り返りポイント

あなたの答えと〇×

学習に関するアンケート (学方向上に繋げる深いアンケート10問)

●生徒のみなさんへ

こんにちは、みなさんが「学習について」というアンケートで答えられた事をお知らせしています。ここではお集めた10問は、学方向上アンケートが完了したため、再分の内訳を詳しく、横棒からどんな学習の改善方向に示しているかについてお話ししたいと思います。

●先生方の方へ

手元には、同じような学習の改善方向へ向かうための関連する資料も添付されています。ここでは、特に学方向上と関係が深いと思われる10項目と合わせていますので、お集まりになさるごとのように回答されているかについて、ご自身の考え、数量などを振り返る機会としてください。

児童生徒一人ひとりの答案用紙を縮小印刷し、各設問の正誤が掲載されます。

学習に関するアンケートから、10項目についての児童生徒の回答結果が示されます。

川崎市の

新たな学習のアプローチに!

新川崎市学習状況調査!!

なんとなく勉強ってニガテ... 勉強といっても何から手をつければ?

あれ? 前と少し違うね。二次元コードも載ってる!

おお!!

新しくなってから、対象が小学4年生から中学3年生に拡充したから過去の自分と比べやすいよね!

そんなときはね!

去年 2 がニガテなのか...

今年 3 ができるようになった!

カシャ!!

結果

GIGA端末で二次元コードを読み取ると...

さらには!!

図形の形がニガテな高杉君へ

おお!!

このニガテを伸ばそう!

学習のキッカケに

このニガテを克服する!

保護者のみなさまへ

- 保護者のみなさまに次の3つの取組をお願いします。
- 学習の取組を振り返ります  
普段の学習の取組についてお子さんとともに振り返りましょう。
  - 課題を的確に把握します  
お子さんが「自分の課題についてこのように取り組もう」と自分に合った取組を見つけられているか、ご家庭で一緒に確認しましょう。
  - 自らの学習改善に生かします  
学習を振り返り、自分の課題を把握したお子さんが、継続して自ら課題に取り組んでいけるように家庭での学習を進めてください。調査結果はGIGA端末の学習ソフトと連携していますので家庭学習でもご活用ください。

何から取り組もうかな?

## 6 結果の概要

今回速報する「教科の観点ごとの数値」や「学習についてのアンケートの数値」は、調査時の学習状況を表したものであり、経年で把握して活用することを目的としております。今年度は新しい調査の初年度であるため、今年度の数値のみをお伝えし、次年度以降は、過年度の数値を踏まえた分析を行ってまいります。

### (1) 教科に関する結果の概要 (小学校：国語、算数 中学校：国語、社会、数学、理科、英語)

#### ア 小学校教科 (国語、算数) に関する調査の平均正答率 (%)

学年	観点	国語	算数
小4	知識・技能	83.3	75.1
	思考・判断・表現	66.1	47.8
小5	知識・技能	73.0	71.1
	思考・判断・表現	69.2	34.6
小6	知識・技能	69.7	67.5
	思考・判断・表現	71.3	46.1

#### 【小学校 主な特徴】

- 小学4年では、国語の「文章の中心となる話題を読み取ること」はできているが、「登場人物の心情の理由を読み取ること」に課題があった。算数の「表を読み取ること」はできているが、「示された考えを読み取り、説明すること」に課題があった。
- 小学5年では、国語の「段落に書かれている内容を捉えること」はできているが、「条件に当てはまるように文を書くこと」に課題があった。算数の「展開図を組み立てたときの平行になる面を選ぶこと」はできているが、「割合を用いて説明すること」に課題があった。
- 小学6年では、国語の「段落の内容を要約すること」はできていたが、「条件に当てはまるように文を書くこと」に課題があった。算数の「表から数の関係を読み取ること」はできているが、「おつりが最も少なくなる買い方を説明すること」に課題があった。

#### イ 中学校教科 (国語、社会、数学、理科、英語) に関する調査の平均正答率 (%)

学年	観点	国語	社会	数学	理科	英語
中1	知識・技能	75.7	55.9	72.5	63.9	78.9
	思考・判断・表現	68.0	42.3	42.3	53.1	68.7
中2	知識・技能	73.9	50.2	59.9	51.7	70.3
	思考・判断・表現	74.1	39.3	24.9	51.6	59.9
中3	知識・技能	73.5	53.1	53.6	62.9	68.9
	思考・判断・表現	72.9	52.1	31.6	53.7	59.2

【中学校 主な特徴】

- 中学1年では、国語の「登場人物の心情の理由を選ぶこと」はできているが、社会の「複数の資料を読み取り、関連付けて考えを書くこと」に課題があった。
- 中学2年では、国語の「登場人物の行動を読み取ること」はできているが、数学の「データ中の特定の値について平均値などを使って説明すること」に課題があった。
- 中学3年では、英語の「英文と質問を聞き取り、適切な表現を選ぶこと」はできているが、理科の「飛行機雲のようすと天気の関係について考察すること」に課題があった。

(2) 学習についてのアンケート (一部)

※数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」等、肯定的な回答を合わせた値を表している。

①②はともに国語、社会、算数(数学)、理科、英語の平均

学 年	①あなたは、次の教科の授業が、どれくらいわかっていますか。 (教科の理解度)	②あなたは、次の教科の勉強は、どれくらい好きですか。 (教科の好感度)	③授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、 <u>その理由や考え方も一緒に理解しよう</u> としていますか。(小4は下線部が「自分できちんと考えるように」)
小4	85.6	72.3	74.9
小5	84.6	68.0	71.2
小6	83.6	64.7	71.8
中1	71.1	58.0	69.4
中2	66.7	59.5	62.9
中3	67.5	60.7	66.0

問合せ先

川崎市教育委員会事務局総合教育センター

カリキュラムセンター みやじま うのき 宮嶋・鶴木

電話044-844-3720